

告 辞

晴れの卒業式を迎えられた皆さん、おめでとうございます。輝かしい門出を心からお祝い申し上げます。

今、皆さんは、それぞれの道を歩むにあたり、将来への期待に胸をふくらませ、決意を新たにしていることと思います。これまでの学校生活で培った学ぶ姿勢や育んだ友情、鍛えた心身は、今後の人生の力強い支えとなるに違いありません。

現在、経済のグローバル化や高度情報化など、急速に変化する世界の中で、我が国は、東日本大震災の教訓も踏まえながら、新しい日本の再生に取り組んでいます。このような時代にあって、私たちには、広い視野をもって状況を的確にとらえ、課題を見付け、その解決に向けて積極的に行動することが求められています。皆さんが、授業や部活動、学校行事などを通して身に付けた、自ら学び自ら考える力やコミュニケーション能力などは、今後、様々な課題を解決するにあたって、必ず生かされるものと信じています。

昨年のロンドンオリンピックでは、本県出身の松本薫選手が、並外れた集中力で攻めの柔道を貫き、日本に大会初の金メダルをもたらしました。以前は、勝ちたいという気持ちだけで相手に向かい、不本意な結果となることもありましたが、自分の柔道を見つめ直し、感情をコントロールする術を身に付けたそうです。こうして自分の弱点を克服したことが、夢であったオリンピック優勝につながったのです。優勝直後、思わず流した涙は、自分を信じ、夢に向かって努力することの素晴らしさを示してくれました。

また、12月には、山中伸弥さんが、iPS細胞の研究によりノーベル賞を受賞しました。難病に苦しむ人々を救いたいという熱い思いで研究に取り組み、予想外の結果も新しい発見のためのチャンスとし、ついに未来の医療への扉を開きました。受賞の喜びの一方で、「まだ一人の患者さんも救っていない」と語る姿勢からは、現状に満足することなく、強い使命感を持って、挑戦を続けることの大切さを教えられました。

これからの時代を担う皆さんは、たとえ困難に直面してもあきらめずに、その状況をむしろ前向きにとらえ、夢や目標に向かって努力を続けてください。そして、強い信念を持って前へ進み、活力に満ちた輝かしい未来を築いていくことを期待しています。

皆さんを今日まで温かく見守り、支えてくださった保護者や先生方への感謝の思いを胸に抱き、ふるさと石川に誇りと愛情を持ち、心豊かな人生を歩んでいってください。

皆さんの今後の健康と活躍を祈って、はなむけの言葉といたします。

平成25年3月

石川県教育委員会